

旭川大学をベースとした公立大学の設置に関する アンケート調査の実施について

現在旭川市では、人口減少が進む中においても、活気があるまちづくりを進めていくために、旭川大学をベースにした公立大学の設置に関して、有識者の方々から様々な御意見をいただきながら検討を行っております。

公立大学は私立大学に比べて、少ない学費の負担で学ぶことができ、また、旭川に公立「ものづくり大学」の開設を目指す市民の会から要望されている内容などを踏まえて、デザインから経営まで幅広い分野を学ぶことができる学部等を新設することで、進路の選択肢が広がり、また、多くの若者でまちが賑わい、地域経済の活性化や地域が必要とする人材の育成・供給にもつながるといった効果が期待でき、意義がある取組であると考えております。

一方、旭川大学をベースに公立大学を設置した際には、新学部の設置に伴い、新たな費用が一定程度生じる可能性があり、また、公立大学の運営に当たっては、入学金や授業料などのほか、学部や学生数を基に国から市に交付される地方交付税等で運営していくことになりますが、18歳人口が減少する中では、学生数を確保し続けることができれば、大学の運営は厳しくなることが見込まれます。このため、学生が学びたいと思うような魅力的な大学であることが必要です。

こうしたことから、市として今後の検討を進めていくに当たりまして、広く市民の皆様や高校生、また実際に進路指導をされている先生からも御意見を頂きたくアンケート調査を実施することとしましたので、大変お手数ですが、添付しております資料を御一読いただいた上で、アンケートに御回答くださいますようよろしくお願いいたします。

1 回答方法

11月30日（木）以降を目処に回収にお伺いいたします。

2 問い合わせ先

旭川市役所 総合政策部 政策調整課

電話：0166-25-5358

Mail：seisakuchosei@city.asahikawa.lg.jp